

くすりのしおり（案）

内服剤

2023年8月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：アンブリセentan錠 2.5mg「JG」

主成分：アンブリセentan (Ambrisentan)

剤形：白色の錠剤、直径 7.1mm、厚さ 3.7mm

シート記載など：アンブリセentan 2.5「JG」、アンブリセentan、2.5、JG、Ambrisentan 2.5、アンブリセentan錠 2.5mg「JG」



この薬の作用と効果について

エンドセリン受容体に拮抗し、肺の動脈を収縮させるエンドセリンという物質の働きを抑えることにより、肺動脈の血圧を下げ、同時に肺動脈を流れる血液の量を増やし息切れや疲労感を改善します。通常、肺動脈性肺高血圧症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝障害、貧血、間質性肺炎、肺静脈閉塞性疾患、出血の危険因子、腎障害がある。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回2錠（主成分として5mg）を1日1回服用します。症状により適宜増量されますが、1日の最大服用量は4錠（10mg）です。シクロスポリンと併用する場合の最大服用量は成人で1日1回2錠（5mg）です。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に通常に服用する時間が近い場合は飲まずに、次の服用時間から1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・この薬は肝酵素が上昇することがあるので、使用前に肝機能検査が行われます。使用中も必要に応じて定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・この薬は貧血を起こすことがあるので、使用前と使用開始1ヵ月後に血液検査が行われます。その後も定期的な検査が行われることがあります。
- ・急性肺水腫の徴候（息苦しい、息をする時ゼーゼー鳴る、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、横になるより座っている時に呼吸が楽になる）がみられた場合には、医師に連絡してください。
- ・胎児に影響を及ぼす可能性があるため、妊娠しないよう確実な避妊法を用いてください。妊娠がわかった場合もしくは妊娠している可能性がある場合は、ただちに医師に連絡してください。また、妊娠する可能性がある場合、必要に応じて妊娠検査が行われることがあります。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、頭痛、潮紅、鼻閉、末梢性浮腫、ほてり、喀血、鼻出血、吐き気などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身倦怠感、めまい、頭痛 [貧血]
- ・むくみ、息苦しい、腹がはる [体液貯留]
- ・からだがだるい、全身のむくみ、息苦しい [心不全]
- ・咳嗽、呼吸困難、発熱 [間質性肺炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。